

1. 地域における技能振興

(1) 技能五輪全国大会予選の実施

- ・当県から参加が見込まれる職種について予選会を行います。
- ただし、技能検定実技試験を兼ねて行う職種を除きます。

① 実施職種 : 2 職種 (造園・日本料理)

(2) ものづくりの魅力、技能者の持つ技能を伝えるための取組

① ものづくりマイスター以外の熟練技能者の活用

- ・ものづくりマイスターの対象職種に該当しない職種やマイスター認定者が発掘できない場合等、派遣先の要望に基づき適切にコーディネートのうえ、該当する職種の熟練技能者を派遣します。

② IT マスターの発掘及び活用

- ・情報技術関連職種の技能者等を IT マスターとして認定し、派遣先の要望に基づき適切にコーディネートのうえ派遣します。

③ 技能競技大会展の実施(ブロック幹事県等と協力して取組みます。)

④ 技能士展の実施の実施(ブロック幹事県等と協力して取組みます。)

⑤ 技能伝承に取り組む企業の好事例発表及び意見交換

- ・技能伝承等の好事例がある場合、各企業への情報提供等を図るため、発表及び意見交換等の会議等を行います。

2. ものづくりマイスターの認定、登録に関する業務

(1) ものづくりマイスターの掘り起こし及び派遣先開拓

- ・訪問等による派遣先開拓や指導要望職種にマッチしたマイスター発掘を行うとともに、速やかにマイスター候補者の認定登録を行います。

相談窓口を設置し、以下の活動を実施します。

① マイスター認定予定者数

- ・目標：15 人以上

② ものづくりマイスターに対する指導技法等講習

- ・指導技法を必要とするマイスターに対して講習を行います。

3. ものづくりマイスターの活用に係る業務

(1) 若年技能者人材育成に係る相談・援助

- ・相談窓口を設置し、電話、来所及び訪問等によるパンフレット配布等により相談援助や制度紹介を行います。

- (2) ものづくりマイスター派遣による実技指導
中小企業及び工業高校等派遣先の要望に基づき、適切なマイスター選考と指導内容・指導期間等を事前にコーディネートの上実技指導を行います。
- (3) 「目指せマイスター」プロジェクト
地域の小中学校等派遣先の要望に基づき、学校の教師、学生生徒、保護者を対象とした「ものづくりの魅力」の理解を深めるため、授業等にマイスターを派遣し、講座及びものづくり体験等を行います。
- (4) ものづくりマイスターの実技指導件数及び活動数
- ① 実技指導事例件数の対象及び目標（目標 175 件）
- ・中小企業及び団体 : 50 件
 - ・工業高校等 : 120 件
 - ・小中学校 : 5 件（「目指せマイスター」プロジェクト）
- ② 受講者数目標（目標 3,000 人日）
- ・中小企業及び団体 : 500 人日
 - ・工業高校等 : 2,300 人日
 - ・小中学校等 : 200 人日（「目指せマイスター」プロジェクト）
- ③ 派遣者数（目標 650 人日）
- ・中小企業及び団体 : 230 人日
 - ・工業高校等 : 400 人日
 - ・小中学校 : 20 人日（「目指せマイスター」プロジェクト）

4. 地方公共団体、経済団体等との連携会議の開催

- (1) 連携会議の開催 : 年 2 回（6 月・12 月）
- (2) 連携会議構成メンバー
- ・三重労働局
 - ・（独）高齢・障害求職者雇用支援機構 三重職業訓練支援センター
 - ・三重県教育委員会 高校教育課
 - ・三重県教育委員会 小中学校教育課
 - ・三重県中小企業団体中央会
 - ・三重県技能士会
 - ・三重県雇用経済部 雇用対策課
 - ・三重県職業能力開発協会（事務局）

5. 全国斉一的な取組み

- (1) 全国会議及びブロック会議等開催への出席により、センター・コーナー間の情報交換等を行い連携強化を図ります。